

宝塚市職員、町の応援に

3月10日(木)と11日(金)の2日間、宝塚市の職員が被災地派遣として来町しました。現在も復興事業のため職員派遣をいただいている宝塚市ですが、毎年この時期、別に被災地派遣として職員を派遣してくださっています。今回派遣職員として来町したのは引率を含めて24名の職員で、一日目は志津川地区の復興現場の視察や仮設住宅の訪問、二日目は追悼式の式典受付や献花、場内の案内、駐車場での車両整理等にご協力いただきました。宝塚市のみなさん、ありがとうございました。



旬のワカメを堪能

3月6日(日)、伊里前福幸商店街において春つげわかめまつりが開催されました。会場の中でも人気を博したのが生わかめ・生めかぶの詰め放題コーナーで、来場者は袋いっぱい一生懸命詰めていました。また、ステージイベントでは歌津中学校吹奏楽部によるチャリティーコンサートが開催され、台湾南部地震の募金活動も行われました。会場ではそのほか、わかめ汁・わかめしゃぶしゃぶが無料で振る舞われ、来場者は旬のわかめを堪能していました。

春休み防災行政無線放送

町では、防災行政無線放送で、春休み中の子どもたちが安全に帰宅できるようアナウンスをします。

今回は戸倉小学校5年生の阿部透也さんが協力してくれたので、お話を聞きました。

- 今回、放送を担当することになったきっかけは？
学校で運営放送委員の活動をしているときに、機械を利かせ放送をしたことが評価され、先生から推薦をいただきました。
- 録音をしての感想は？
最初に録音をしたときは声がにごって聞こえたので、次から口を開けて話すようにしたら、最後は納得のいく録音が出来ました。
- 4月から6年生になるけれど、目標等を一言。
最高学年としてみんなを引っばっていきたいです。



サケの放流体験

3月10日(木)、戸倉小学校5年生の生徒がサケの放流体験を行いました。生徒たちは、総合的な学習の時間でサケの捕獲・授精体験を行い、サケの卵から稚魚を育ててきました。

戸倉地区内の水戸辺川でサケを放流した生徒たちは、4年後にサケが元気な姿でまたふるさとに帰ってくることを祈り、稚魚が旅立つ姿を見つめていました。



日本消防協会特別表彰「まとい」受章

南三陸町消防団が消防団の最高荣誉である特別表彰「まとい」を受章しました。3月8日(火)、東京都「日本消防会館」において、財団法人日本消防協会主催の定例表彰式が開催され、山内団長、今野副団長が出席し、表彰状及びまといが授与されました。

この表彰は、昭和54年度に創設されて以来、全国約2,200団の中から毎年度、全国で10団体に限り授与されるものです。

「まとい」受章の要件

消防庁長官表彰旗及び日本消防協会表彰旗を受章していること、全国消防操法大会に出場歴のあること及び日本消防協会の事業に積極的に協力していることが受章要件になります。

【南三陸町消防団の要件状況】

昭和57年2月10日	日本消防協会表彰旗	受賞
昭和62年3月4日	消防庁長官表彰旗	受賞
平成6年	第27回宮城県消防操法大会	優勝
	第15回全国消防操法大会	出場